



GIANT KILLING 女子サッカー部報告 GIANT KILLING

2011-2012 シーズンチームスローガン: 上位を破って勝ち上がる

～大阪高校春季サッカー大会(女子の部)～

大阪ダービーはPKで涙

決勝リーグ2位で関西大会へ

平成23年度大阪高校春季サッカー大会(女子の部)決勝リーグ最終戦大阪桐蔭対大商学園は5月22日 J-GREEN 堺(堺ナショナルトレーニングセンター)で行われ、両チーム無得点のままPK戦となり4-2で大商学園が勝ち2年連続優勝となった。前半はお互いチャンスを作るものの決定力を欠いて均衡した試合となった。後半突然風雨が激しくなりパスがほとんどつながらず悪条件に苦しめられた。後半終了間際に大阪桐蔭は風に味方され大商学園ゴールに迫ったがあと少しで得点できなかった。PK戦では大阪桐蔭の2人が外し涙をのんだ。

この両チームに加え3位に入った星翔高校の3チームが6月11日から播磨光都(兵庫県赤穂郡上郡町)ほかで開催される全国高校選手権関西予選に出場、上位3チームが7月静岡県磐田市で行われる全国大会に出場できる。

◇決勝リーグ第3戦(5月22日、J-GREEN 堺)35分ハーフ(カッコは前半のスコア) 大阪桐蔭高校 0-0(0-0)大商学園

これまで26回目を数える大阪ダービーは大阪桐蔭の15勝4分6敗だが高校選手権の出場は大商学園4回に対し大阪桐蔭は2回。過去の対戦は関係ない。この日は大阪の第1代表をかけた重要な試合となった。今にも雨が降り出しそうな天候でキックオフを迎えた。開始から大阪桐蔭は守備ラインを高く前からプレスをかけて相手コートで試合を進めた。何度か大商学園ゴールに詰め寄ったがシュートを打たせてくれずチャンスを作ることができなかった。後半が始まった途端、風雨が強くなった。大阪桐蔭の左サイドから右サイドに激しく吹く横風と雨でまったくパスがつかない。大商学園も同様だがボール際と気持ちの強さで押し込まれる場面が多くなった。決定的なピンチは大商学園

桑原が枠を外しほっと胸をなで下ろしたが、守備ラインでボールをつなぐことができず終始ロングボールに頼るサッカーでは組み立てができない。それでもピンチをしのいだ大阪桐蔭に流れが傾いた。後半残り10分となって大商学園ゴールに向かう風向きが変わったのだ。この風をゴールへの推進力に変えて押し込みフリーキック、コーナーキックを得たものあと一歩ゴールをこじ開けることができない。押し寄せムードのまま試合終了となった。PKでは1人目松川がGKにはじかれ、3人目草野が外し敗れた。

関西大会組合せ

第20回関西(近畿)高等学校女子サッカー選手権大会兼全日本高等学校女子サッカー選手権大会関西予選の組合せが決定した。大阪桐蔭高校は6

月11日兵庫県の播磨光都グラウンドで1回戦和歌山の神島高校、準決勝は日ノ本学園と星翔高校の勝者と対戦。

ACL 大阪ダービー観戦 万博でガンバ VS セレッソ

5月24日万博記念競技場でAFCチャンピオンズリーグラウンド16、ガンバ対セレッソの大阪ダービーを観戦した。この大会はクラブチームアジアナンバー1を決める大会で32チームが参加、日本からは名古屋グランパス、ガンバ大阪、セレッソ大阪の2010年度Jリーグ上位3チームと天皇杯優勝鹿島アントラーズが参加した。この4チームはグループリーグ2位以内を確保し決勝トーナメントに進出、一発勝負で準々決勝進出チームを決めた。

万博はガンバのホームとはいえダービーらしくスタジアムは二分された。前半はガンバのペースだったが後半セレッソの選手交代で流れが変わり最後は終了間際の高橋の得点で勝利を引き寄せた。大阪桐蔭男子サッカーに所属した丸橋さんのお兄さんもセレッソで活躍した。試合後グラウンドで横たわるガンバの選手をみて、ダービーに敗れた悔しさを見た。熱い戦いに選手の気迫を感じ自分たちもまた本気になって試合に挑む誓いをたてた。

全日本女子、U-18 大阪予選組み合わせ

第17回大阪女子サッカー選手権大会兼第33回全日本女子サッカー選手権大会大阪大会1回戦は7月9日、12時10分万博大阪サッカー場でFCヴィトリアと対戦、第15回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会大阪予選はFCヴィトリア、大商学園、星翔高校、大阪桐蔭高校の4チームのリーグ戦で、8月13日、14日、27日にJ-GREEN 堺で行われる。大阪桐蔭は13日10時大商学園、14日10時FCヴィトリア、27日10時星翔高校と戦う。

2011年度 第20回関西高等学校女子サッカー選手権大会 兼 全日本高等学校女子選手権大会関西予選

組み合わせトーナメント

